

放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 年 月 日

アンケート回収率19/25

事業所名:なでしこ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	指導訓練室以外に学習室、休憩室、個室がある。	はい:19 いいえ:0 どちらともいえない:0 わからない:0	
	2 職員の適切な配置	職員加配をとり、常勤職員4名、パート職員3名勤務している。	はい:12 いいえ:0 どちらともいえない:2 わからない:5 もう少し職員の数を増やしたり、若手を受け入れてもいいのでは？	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	白板やマグネットプレート、タイマー等を利用したり、机の位置を配慮したりして構造化に努めている。	はい:14 いいえ:1 どちらともいえない:1 わからない:3 いつの楽しく活動出来ているようでとても心地よく過ごさせている様です。	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	子供の不在時を中心に掃除や遊具の消毒、壁面構成を行っている。	はい:17 いいえ:1 どちらともいえない:0 わからない:1 以前見学した際に使用していないトイレがそのまま置いてあったので、撤去してほしい。	撤去については費用もあるので検討しつつ、不潔や不快な思いがないようにする。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	打ち合わせ時や会議時に問題点や不備などを確認し、改善を図っている。	/	
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	保護者へのアンケートの実施。	/	
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	他施設の見学や支援学校の研修などに参加している。また、必要に応じた研修には積極的に参加している。	/	
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	6ヶ月毎にモニタリングの実施と電話や来所による相談、ケース会議を通して課題について確認し、個別支援計画の作成を行っている。	はい:18 いいえ:0 どちらともいえない:1 わからない:1 計画書が渡されただけ いつの丁寧にしていただきありがたい。 モニタリングを通して今の状況や今後も課題などの明確な話ができています。	支援計画の内容を丁寧に説明していくようにする。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者や本人の希望を聞きながら、個々に合った計画を作成している。個別支援と集団支援に分けて支援内容や留意点を考えている。		
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	具体的な支援方法及び支援機関を個別支援計画に記載している。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援会議や打ち合わせ時、支援日誌を通して支援内容や支援方法を全職員が把握できるようにしている。問題点があれば、打ち合わせ時にその都度確認している。	はい:17 いいえ:0 どちらともいえない:0 わからない:2 子供にあった支援がされていると思います。	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	各プログラムの担当者を決め、職員会議で内容の確認を行ったうえで、決定及び実施している。	はい:18 いいえ:0 どちらともいえない:0 わからない:1 週一の利用ですが、他の曜日にもいろいろな活動があり楽しそうです。	
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	夏休みはプールや外出、行事などを実施し、長時間利用でマンネリ化しやすい中で工夫を行っている。また、月ごとに季節に合った行事や外出を実施している。		
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	月ごとに運動や音楽療法、創作活動、自主課題などの療育プログラムを日替わりで予定を立てて実施している。		
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	打ち合わせ時に利用予定者の確認と支援内容及び方法を確認を当日勤務の職員と行っている。		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	日誌に特記事項や問題点などを記入し、打ち合わせ時に口頭での説明・確認を行う。		
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日の実施内容と様子ケース記録に記入し、特記があれば職員間での情報共有ができるように日誌に記入している。検証・検討が必要な事項については随時打ち合わせ時に確認を行っている。		
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6ヶ月のモニタリングに合わせて保護者に来所してもらい、面接を実施している。また、日々の様子を連絡帳や電話、ラインなどでやり取りし、支援の方向性を確認している。			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	相談支援事業所や他事業所、市の担当者などを交え定期的に連絡会を実施して情報を交換、共有している。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	小学校や特別支援学校とは情報共有を行っている。また、連絡会が定期的に開催されているのでその場での情報共有も行っている。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	今のところは利用児童の年齢が低く、取り組んでいない。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	積極的に参加出来るようにしている。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	実施できていない。	はい:4 いいえ:3 どちらともいえない:0 わからない:11
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	事業所見学会を日程を決めて行っている。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に文章で説明している。また、その都度口頭やライン、お知らせ文章で伝えている。	はい:18 いいえ:1 どちらともいえない:0 わからない:0 分からないことは連絡帳やラインで確認出来て助かっています。	
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	6ヶ月に1回保護者に来所してもらい、支援計画を元に支援内容や児童の様子等を説明し、保護者の意見や感想、希望等を確認する。それを踏まえて計画を作成し、再度保護者への説明を行う。	はい:18 いいえ:0 どちらともいえない:0 わからない:1	
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者より、相談があった場合はアドバイスを行っている。また、職員側が気になることがあった場合も話をしている。	はい:5 いいえ:1 どちらともいえない:3 わからない:10 もう少しペアレントトレーニングが出来る機会があってもいいのかなと思います。	
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や電話、ラインで状況に応じてツールを使い分け、文章だけでなく画像を使って行っている。	はい:18 いいえ:0 どちらともいえない:0 わからない:1 モニタリング等で先生方とお話する機会があるのでその時に情報を共有しています。	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談があった場合は、電話だけでなく直接顔を見て話すようにしている。	はい:17 いいえ:0 どちらともいえない:0 わからない:2	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施できていない。	はい:2 いいえ:8 どちらともいえない:1 わからない:7	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	窓口職員を保護者に知らせている。直接言いにくい場合は、市の窓口を使うように電話番号を伝えている。苦情対応の書類を作成し、職員間で共有している。	はい:8 いいえ:1 どちらともいえない:1 わからない:8 そういった機会がないのでわからない。そういった場面になったことがないのでわからない	苦情があった場合は、速やかに対応する。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	マグネットプレートや貼り紙などを使って構造化を行っている。また、イラストや写真を用いてわかりやすく伝えている。保護者とは連絡帳やラインでやり取りしている。	はい:16 いいえ:0 どちらともいえない:1 わからない:1 LINEは助かります。毎回連絡帳に子供の様子を書いていただき話を聞く時に分かりやすいので助かる。	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	利用予約表と一緒に行事や療育予定のカレンダーと一緒に渡している。	はい:14 いいえ:1 どちらともいえない:1 わからない:7 写真を送信して頂くのでその写真を見るのが楽しみになっている。	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	書類については扉の付いた棚に収納している。職員は守秘義務を徹底し、子供への声かけや支援の中でも個人情報については慎重に行っている。	はい:13 いいえ:0 どちらともいえない:1 わからない:4 連絡帳が入れ替わることがあった。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	作成している。	はい:12 いいえ:0 どちらともいえない:0 わからない:6	保護者に周知できていないので、周知できるようにしていく。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	実施している。	はい:7 いいえ:0 どちらともいえない:1 わからない:10	利用曜日によっては参加出来ない児童もいるので、まんべんなく参加出来るようにしていく。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	職員間の共通認識としてはあるが、研修の時間を確保できていないので今後は実施していく。		今後実施していく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	今のところ身体拘束が必要となるケースはない。今後必要となった場合は法律に沿って慎重に対応していく。		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	面接時にアレルギーの有無を保護者に確認し、それに沿って対応している。		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	作成している。事故発生時には職員間で対応策を検討し、実施している。		